

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

授業担当者

所属/職名: グローバルセンター/教授

氏名: 中谷 純江

授業科目名	海外研修基礎コース in カリフォルニア
研修先(国・地域) 滞在地	米国・カリフォルニア
研修期間	平成29年2月19日 ~ 平成29年3月5日
<p>〔研修の成果〕</p> <p>本研修は、まず最初の1週間、サンフランシスコで多文化主義、移民問題、貧富の格差、高齢者福祉の3つをテーマとする研修をおこなった。中国系移民の町チャイナタウン、メキシコ系移民の多いミッション、LGBTの拠点カストロでフィールドワークをおこなった他、テンダーロインとよばれる低所得者やホームレスが多い地区にある教会でのボランティアに参加した。フィールドワークでは、カリフォルニアの移民が築いてきた多様な文化にふれることができた。また、教会でのボランティアは、サンフランシスコ市のホームレスの現状と民間団体の取り組み、市民一人ひとりの問題への関わりかた、考え方などについて学ぶことができた。日系移民の高齢者への支援団体も訪問し、老人ケアや介護の分野でも、また文化的差異が重要な問題となっており、様々なコミュニティに対応した支援団体があることもわかった。また、お年寄りとの交流によって、アメリカに移住することとなった経緯や背景などについて話をきくことができた。サンフランシスコ州立大学との交流では、まさに移民の親をもつ学生や留学生も多くおり、日本の歴史や均質社会の特殊性をあらためて見直すチャンスとなった。サンノゼ日本町では日系移民の歴史や町の現状について学ぶことができた。彼らが経験した収容所送りや種々の差別は、現在の移民問題、メキシコ移民やイスラーム教徒の移民への迫害を許すべきでないという声明の基盤となっていることが分かった。次の1週間は、ソノマ州立大学でグローバル課題への地域への取り組みというテーマの講義をうけ、地域の取り組みについてフィールドワークを実施した。セバストポールという小さな町の交流団体によって、ホームスティ先や訪問先のアレンジなどを支援していただき、学生一人ひとりが充実した研修をおこなうことができた。英語力の強化、地域課題の理解、リーダーシップの重要性など、グローバルに活躍する際に自分に足りないものを明確に認識し、今後、取り組んでいくための目標を具体化することができた。</p>	
<p>〔今後の課題〕</p> <p>サンフランシスコ州立大学、ソノマ州立代学との連携をさらにすすめ、本学学生をうけいれてもらうだけでなく、双方向の交流へ発展させるよう尽力する。</p>	